

— 絵金芝居絵屏風本格修理のご報告・3 —

《本格修理 いよいよ折り返し地点！》

絵金蔵に収蔵している高知県保護有形文化財に指定された芝居絵屏風 23 隻のうち、未修理の 18 隻における本格的な修理事業を実施しています。

全 18 隻の大規模な事業となりますが、この修理を施すことにより祭りで町に芝居絵屏風を並べるといふ絵金文化を守ることができ、後世へ文化をつないでいくことができます。本事業は赤岡に残る芝居絵屏風を対象としたものではありませんが、県内には各地に絵金やその弟子らによる芝居絵作品が残され、祭りに展示されたり、保管されたりと大切に受け継がれてきています。今すぐこれらに対して最適な処置を施すことは難しいかもしれませんが、できることを少しずつ進めるための足掛かりとして、本事業が文化財の在り方を考えるきっかけになることを願っています。

◎以下の助成事業の対象となっています。

- ・文化財保護活動助成 / 公益財団法人 朝日新聞文化財団
- ・美術品修復事業助成 / 公益財団法人 出光文化福祉財団
- ・文化財保存修復助成 / 公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

- 2019 年度（1 年目）修理作品 -

1. 花衣いろは縁起 鷲の段（本町二区所蔵）
2. 伊達競阿国戯場 累（本町二区所蔵）
3. 東山桜荘子 佐倉宗吾子別れ（本町二区所蔵）
4. 播州皿屋敷 鉄山下屋敷（横町二区所蔵）



本格修理の工程 ▶▶▶

汚れの除去（湿式）



この工程では、文化財修理に適合させたる過水（イオン交換水）が用い

筆や刷毛などを用いて表面に蓄積した微塵類やなどの付着物を取り除く乾燥状態でのクリーニングの後、続いて湿式クリーニングを行います。

られます。下地から取り外した本紙の下へ吸水性の高い文化財修理用の紙を敷き、本紙表面側から霧吹きなどを用いて水分を与えることで、水溶性の酸化物等を含む汚れがその紙へ移動して取り除かれます。

褐色のシミや雨の痕などの汚れが洗い落とされたことにより、肌の白さが以前にも増して際立ち、全体的にくすんだ印象であった画面がもとの鮮やかさを取り戻し、スッキリとした印象となりました。（もちろんこれまでもとても鮮やかな作品でしたが！）

本格修理の工程 ▶▶▶

旧裏打紙の除去

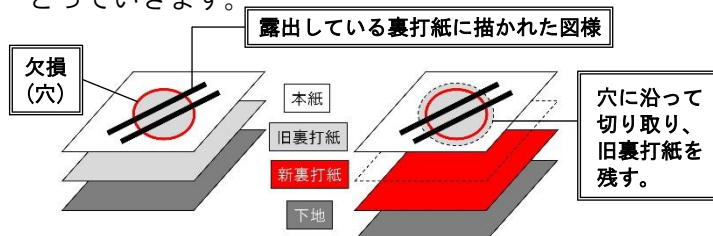


クリーニングを終えると、今後の工程に耐えるため、また強化のために必要箇所へ再度剥落止めを施します。応急修理の際、解装前と剥落止めを施してきま

ましたがここでも実施し、その都度適切な強度で剥落止めを施していきます。

図様が描かれている本紙の裏面には、強化のために薄い和紙が「裏打紙」として貼り付けられています。貼り付けられていた旧裏打紙（※画像、白っぽい紙）は古くなり強度が弱くなっているため取り除き、後の工程において裏打紙を新たに貼り付けていきます。

本紙の一部が欠損して図様が無くなってしまった場合、通常は裏打紙を剥がして本紙の欠損（穴）部分に裏面側から補修紙を貼付し、それを覆うように再度裏打ちを行うのが適切な処置ですが、過去において誰かの手によって露出している裏打紙に直接彩色が施されている箇所が見受けられました。その場合、旧裏打紙を剥がすとその部分の図様がなくなってしまうなどの不具合が生じる箇所においては、その部分のみ旧裏打紙を切り取って残し、今後はその上から新調した裏打紙を貼り付けるというような対応をとっていきます。



（2019年11月 絵金蔵）